

# 情報化社会の中での身近な 宇宙利用の拡大

2013年9月13日

横田 真

京都大学

# 宇宙利用(1)

- 衛星通信、衛星放送
- 衛星測位 (GPS、準天頂)
- リモートセンシング  
(気象衛星、海洋観測、陸域観測)
- 宇宙科学・天文  
(はやぶさ、かぐや、ひので、イカロス……)
- スペースステーション利用  
(無重力実験、宇宙医学、地球観測……)

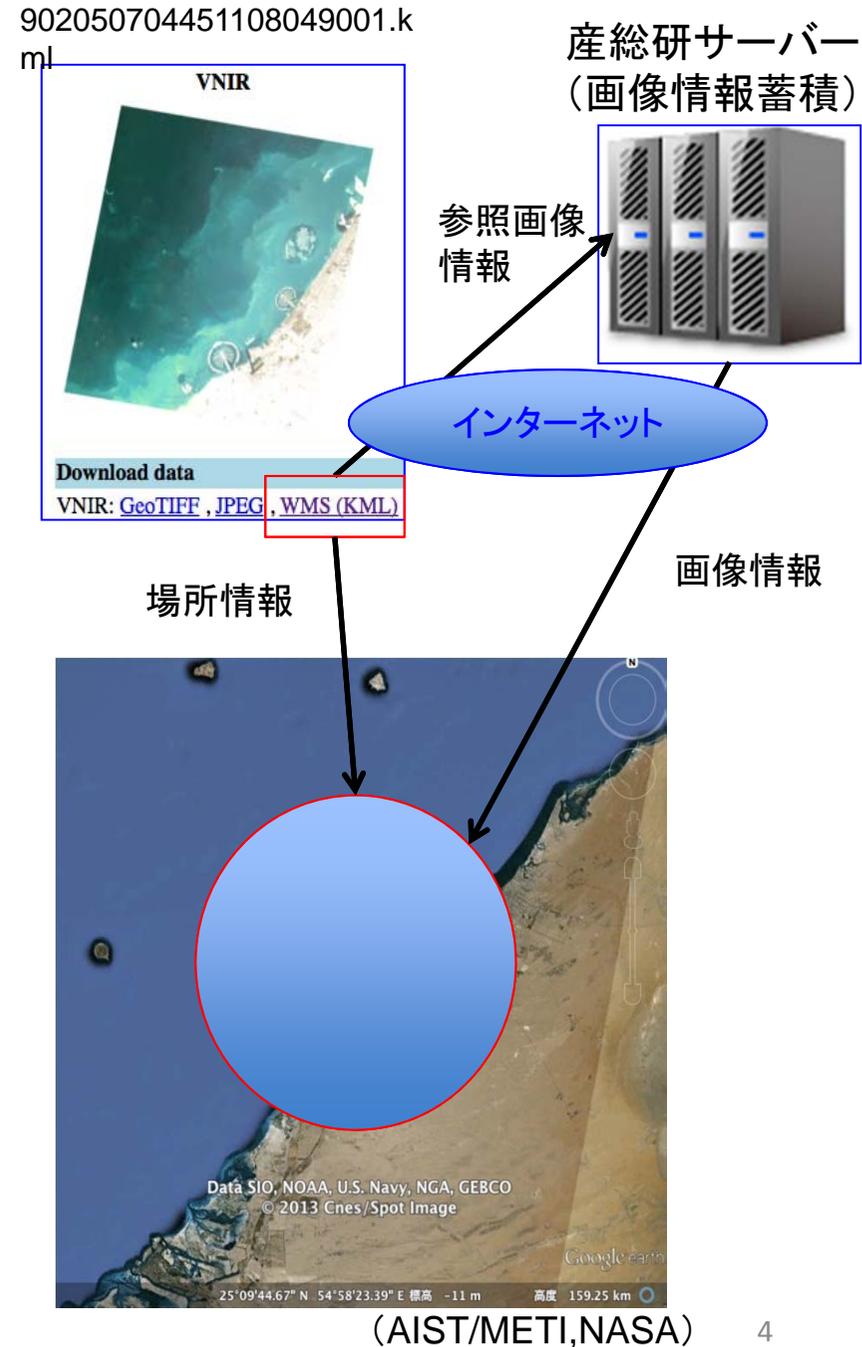
## 宇宙利用(2)

- 衛星放送、衛星通信、気象衛星、GPSなどは身近なものとなってきたが……
- リモートセンシング、宇宙科学、スペースステーション等になると、その道のスペシャリストにならないと……
- しかし情報技術の進展により…

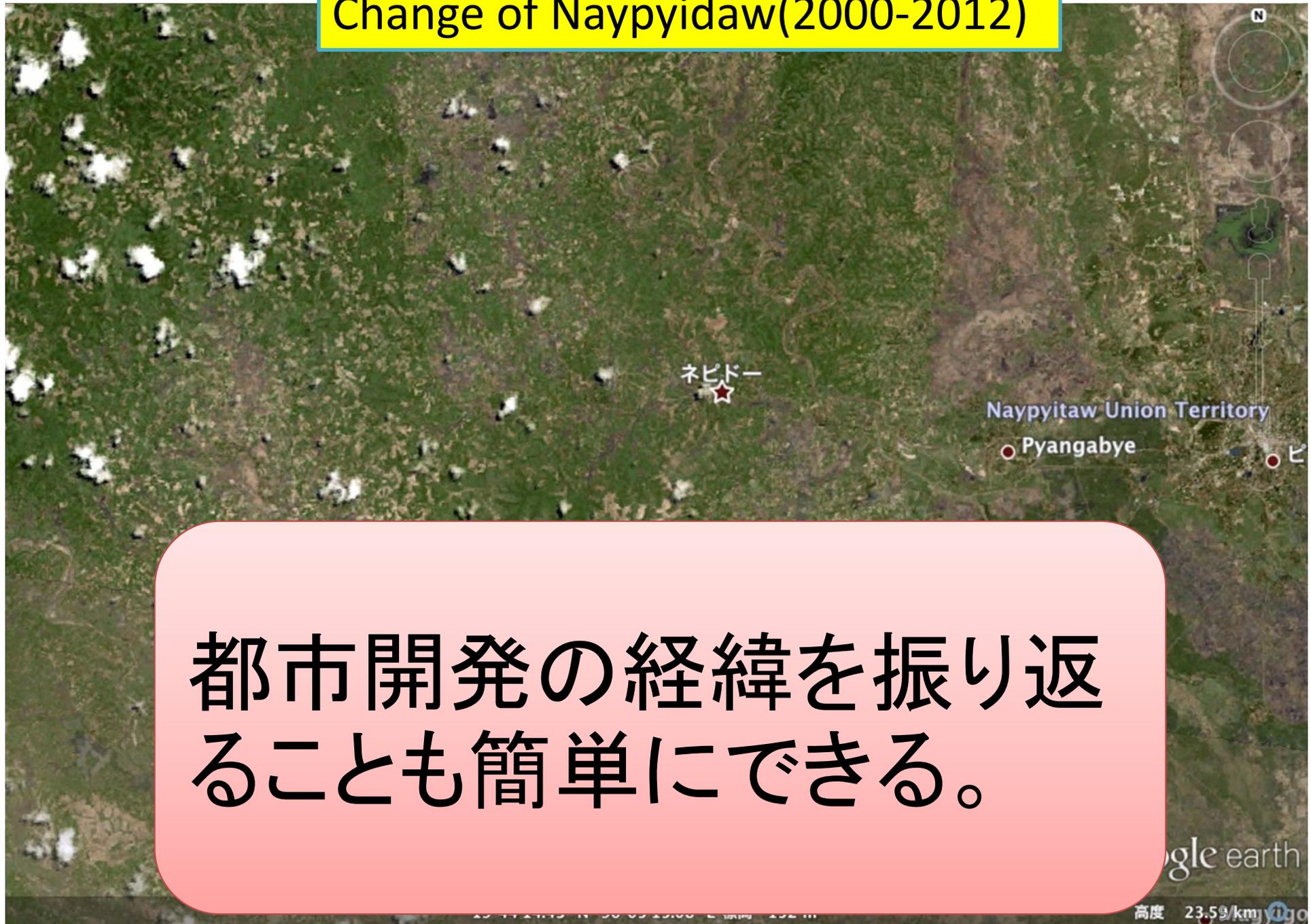
<http://rs.usss.kyoto-u.ac.jp/aboutbv/index.html>

# WMS (KML) 配信 (Web Map Service)

- Google Earth等のWebベースの地図上に貼付けられる(座標系が合った)形式で画像を提供
- kmlという拡張子がついた文書の中には、貼付けるべき場所情報と、参照画像がどのサーバーにあるかが記載されている  
(必ずしも画像本体は含まれない)
- kml文書をクリックすると、Google Earthの当該場所にサーバーから画像情報が送られ、表示される



## Change of Naypyidaw(2000-2012)



都市開発の経緯を振り返ることも簡単にできる。

2000.07.02

高度 23.59/km  
(AIST/METI,NASA)

# 最近のリモートセンシング分野での議論

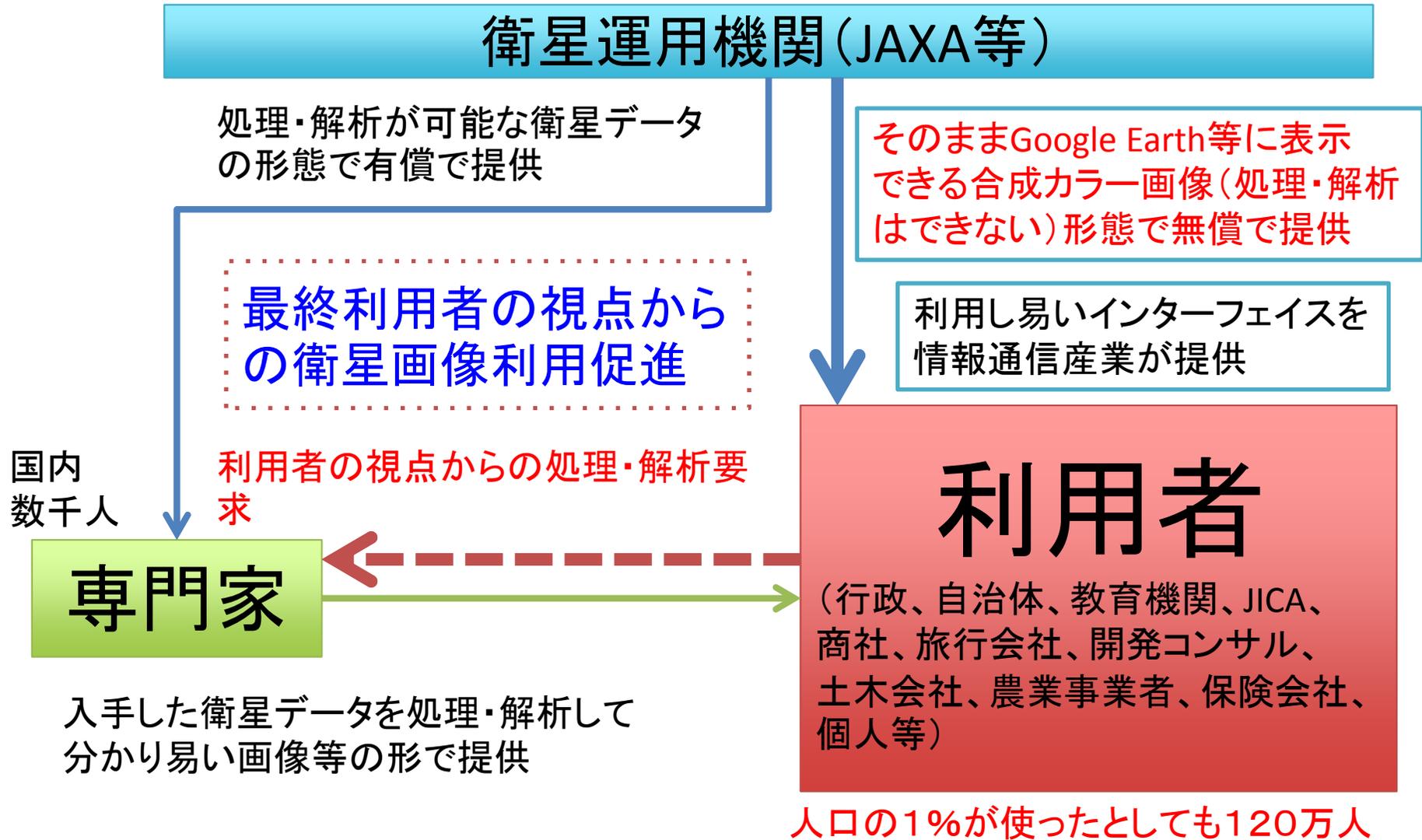
【今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース  
会合・リモートセンシング分科会(TF)「コミュニティ」】

「多様な宇宙関連データを一般の国民が直接活用できるような方策を進めることを通して、国民にとって宇宙をより身近なものとする必要がある」

【日本リモートセンシング学会産官学連携委員会】

『衛星画像の広報・説明におけるWeb map利用促進  
について』検討を開始

# 利用者ニーズ重視の 衛星データ・画像の流れ(私案)



利用者のニーズに応えられる処理・解析技術の開発も進展

# 身近な宇宙利用の拡大

- 衛星画像で夏休みの自由研究をやろう！  
（関西国際空港の出来るまで、歴史調査・・・）
- 精度2mの衛星測位を使って、宝物探しゲームをやろう！
- かぐやのデータから月面絶景ポイントからの景色を作り、パネルにして部屋に飾ろう 等々

誰でも利用できる形式での情報提供がポイント！  
（スマホ、タブレットでもワンクリックで利用可に！）